

古民家(こみんか)鑑定士に合格！！

これは、厚生労働省許可財団法人 職業技能振興会が行う資格試験です。もう一つ上の資格伝統資財施工士:古材鑑定士も取りました。最近には特に建築業界も大変な様変わりです。オール電化、太陽光発電、耐震住宅、また200年住宅など、現代科学の集まった家作りをやらなければ成りません。しかし、本来大工職人がやらなければならない仕事は、ほかに有る様な気がして成りません。そこで出会ったのがこの資格です。どうゆうものなのか簡単に説明します

- 古民家とは** : 昭和20年以降又は、築60年以上経った木造の家の事を言います。
古民家鑑定士とは : 古民家は良質の材料を使い、手間を懸け職人が競って家を作った物です。その古民家の資産価値を鑑定します。
伝統資財施工士とは : 良質の材料(材木、瓦、建具、家具、欄間)を使用し再生また移築などを行う職人の資格です。
古材鑑定士とは : 古民家に使われている材料を古材(こざい)と言いますが、柱、平物丸太、腕木、持ち送りなどの価値を鑑定します。

ザックリですがこんな感じです。私が目指すものは<よりよい古民家いつまでも>を合言葉に**循環型建築社会の構築**であり、無駄をなくし使えるものは再利用し、現代建築と伝統建築のコラボです。また、これらを現実のものにするには、熟練の技と経験が必要です。私もまだまだですが古民家、古材、施工を勉強して行きたいと思いき、私の持っている物を若い職人さんに傳承して行こうと思いき。

色々書いてしまいましたが、もう一つは我が社が関わった仕事には、60年後には古民家、古材として**買取が可能**です。最初に建てさせてもらった家から、約30年近く経ちます。つまりあと30年後に**買取可能な循環型建築社会**を目指します。再生か移築できるものか古材として活用するのか、随時相談に乗りますので、**古民家鑑定**をよろしくお願ひします。

詳しくは <http://www.kominka-kohoku.com/> にて

新しくホームページできました。見てやってください。

民家の甲子園に参加高校募集！！

何かと言いますと、古民家集落や古い町並み、田舎の文化などをその年のテーマに合わせて写真を取り、その内容をプレゼンしてもらいます。近畿予選が通れば全国大会へ出場と言った訳です。本年は八幡商業さんが、古民家賞を獲得されました。残念ながら湖北地方では、まだ出場高校がありません。ぜひ湖北から参加してください。詳しくはHPで検索して連絡下さい。

来年度のエントリーがもう始まっていますよ

民家の甲子園



写真好きあつまれ～

すべての問い合わせは フリーコール 0120-921-979 まで